

おえ案ですか

題字は古川名誉院長

回復期リハビリテーション病棟が開設されました

地域の急性期治療から回復期を経て在宅復帰まで一貫して支援すべく、回復期リハビリテーション病棟が開設されました。地域の急性期医療機関からの転院患者様に関しても、少しでも早くから安心してリハビリテーションを開始できるようスピーディーな受入を心がけております。



治療を受けます。急性期の治療後、まだ医学的・社会的・心理的なサポートが必要な患者様がいらっしゃいます。回復期リハビリテーション病棟は、そのような急性期治療後の患者様に集中的なリハビリテーションを実施し、心身ともに回復した状態で自宅や社会へ戻って頂くことを目的としている病棟です。

病状が安定し始めた発症から約2週間～3ヵ月の状態を回復期といい、この時期の患者様に対し、寝たきりにならないよう、起きる、歩く、トイレへ行



【回復期リハビリテーション病棟とは】

脳血管疾患または大腿骨頸部骨折などの病気や怪我の発症に対し、命の危機から脱する為、急性期の

丸山記念総合病院の理念・基本方針

理念

1. 安全な医療の提供
2. 誠意ある対応
3. 地域との関わり合い



基本方針

1. 接遇に心がけ、心の通う患者様本位の医療を進めます。
2. 院内のチーム連携により質の高い安全な医療を進めます。
3. 地域の救急医療の中心的役割を担います。
4. 地域との連携を積極的に進めます。
5. 患者様を尊重し情報の開示と十分な説明に努めます。
6. 地域に貢献できる医療人を目指します。
7. 医療の質を確保するため病院の経営健全化に努めます。

く、お風呂に入るなど「日常生活動作（ADL）」の練習をします。また必要に応じ、外出訓練や家屋調査・改修のアドバイスなどを行いながら、活動的で質の高い家庭復帰を支援していきます。

この病棟では、病名と、病気・怪我を発症してから入院するまでの期間が決まっています。

詳しくは、回復期リハビリテーション病棟パンフレットや、病院ウェブページでご確認ください。



回復期リハビリテーション病棟へのよくある質問



Q 家族面談では何を聞かれますか？

A 先ず、ご用意できれば、病院からの診療情報提供書、ADL表、血液検査の情報を提供ください。既往歴や、家族構成等に関しお聞きします。主にソーシャルワーカー、看護師が対応致します。

Q 回復期、急性期とはなんですか？

A 脳卒中の例をあげますと、発病2週間位まで集中的な治療や手術を行う「急性期」があり、その後、発病から2～3ヵ月間の機能回復である「回復期」があります。自宅退院後は「生活期」と言います。

Q 最近、動けなくなりリハビリ入院を勧められました。入院できますか？

A 対象の疾患が決まっております。また、発症や受傷、手術からの期間も決まっております。詳しくは当院ウェブページをご確認ください。
<http://www.maruyama-hp.or.jp/guideline/hospitalization06.html>



Q 人工透析を受けているが、回復期リハビリテーション病棟に入院できますか？

A 合併症などの影響が少なく、対象の疾患で入院可能な期間内であれば、人工透析を受けながらの入院は可能です。まずは地域医療連携室までお問い合わせください。



連絡先：地域医療連携室

ご相談は、地域医療連携室までお問い合わせください。

時間 8:30～17:00

定休日 毎週水曜日・毎月第1日曜日・祝日

電話 048-757-3512 内線：2683

転院のご相談には、患者さんの診療情報提供書、ADL表、血液データをご用意頂きます。



新任医師紹介

①出身大学・卒業年度 ②診療担当科 ③資格等 ④趣味

千葉 綾子

(ちば あやこ)

- ①獨協医科大学 医学部 平成 16 年卒業
- ②内科
- ③厚生労働省 麻酔科標榜医
日本麻酔科学会 麻酔科認定医
- ④料理 (後片付けは趣味ではありません)
手芸

平成 28 年 5 月に着任致しました。

1 歳 8 ヶ月の子供と毎日格闘しております。

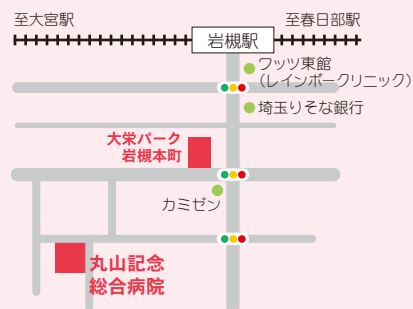
地域医療に貢献できるよう頑張りたいと思います。



★外来へお車でお越しの皆様へ

外来受診の患者様用に「大栄パーク岩槻本町」(当院契約駐車場)をご利用いただけます。当契約駐車場は無料で(最大3時間まで)ご利用できますので、駐車券と診察券を一緒に病院会計時にご提示ください。

※誠に申し訳ございませんが、お見舞いにお越しの方は、病院立体駐車場をご利用ください。なお、お見舞い時間は午後1時～午後8時となっております。



節電への取り組み

当院では、院内の照明を一部消灯するなど、節電に努めております。

ご不便をおかけしますが、ご理解、ご協力をお願い致します。



検査だより

脚の血管検査



脚の気になる

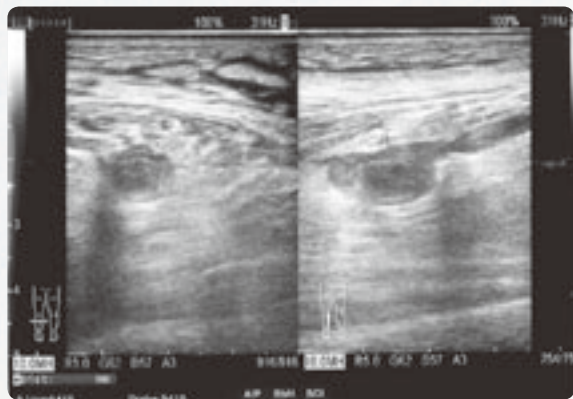
症状はありませんか？

足先の冷感、歩行時の痛み、浮き出た血管、むくみ、腫れは血管が原因かもしれません。

血管の疾患は大きく動脈性と静脈性の疾患に分けられ、それぞれ狭窄・閉塞と拡張の疾患があります。代表的な例として、動脈では閉塞性動脈硬化症、静脈では深部静脈血栓症、静脈瘤などが挙げられます。これらが原因

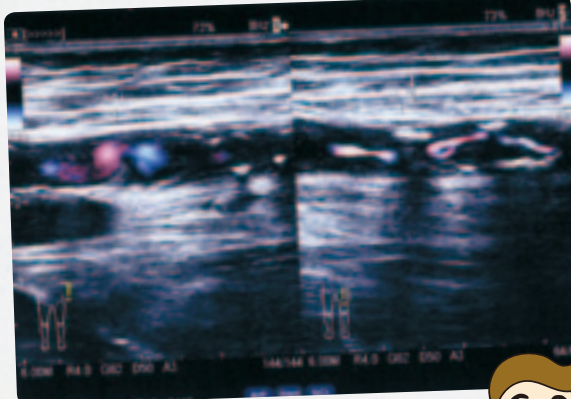
で血液の流れが悪くなり、脚に痛みやむくみなどの症状が現れてくることがあります。血管は超音波検査（血管エコー）で調べる事が出来ます。

血管エコーでは、血管の太さ、壁の厚さ、血液の流れの速さ・方向、血栓の有無を調べます。



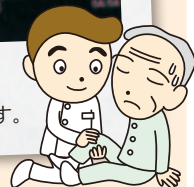
下肢静脈血栓症

血管内に血栓が見られます。



閉塞性動脈硬化症

動脈硬化により血管が狭窄しています。



超音波診断装置（エコー）

【日立製作所製 ProSound F75】

超音波検査は音の反射を使った検査ですので、人体に影響は無く妊婦さんでも安心して受けられます。

但し、検査のモニターを見やすくするため部屋を暗くしています。

血管エコーは下腹部から両足の甲までの広い範囲を調べるため検査に時間がかかります（およそ30～60分）。検査の内容、症状によって時間は異なります。また、体型によっては超音波が血管まで届かなく、十分な検査が出来ない場合があります。



座位で下肢の検査

臨床検査技師 島村 智志

あなたの身近な『食品表示』について



食品のパッケージにある『食品表示』、じっくりと見てみたことはありますか？ 2015年に施行された食品表示法は、消費者にも分かりやすい表示を目指したものです。これまでとの違いの一部を見ていきましょう。

ナトリウムの量は『食塩相当量』で表される

栄養成分表示（1包装あたり）	
熱量	307 kcal
たんぱく質	6.6 g
脂質	17.4 g
炭水化物	31.0 g
食塩相当量	1.4 g



栄養成分でこれまではナトリウムとしか表示されていなかった食品もありましたが、このナトリウムから食塩相当量を算出^(※)できる人はわずか3.9%のみだったそうです。確かに計算方法まではあまり知られていませんよね…！

←必ず表示されている栄養素はこの5項目

Q 『塩分控えめ』と『うす塩味』、違いはなに？

A 塩分控えめ…食品表示法で定められた食塩相当量の基準をクリアした商品であるという強調表示

うす塩味…塩味が抑えられているという、味覚を表現したキャッチコピー



アレルギー発症数の多い『特定原材料』は省略→すべて表示へ

特定原材料とは、アレルギー発症数が高く重篤度が高いえび、かに、小麦、そば、卵、乳、落花生の7品目のアレ



名称	サンドイッチ
原材料名	パン、ハム、レタス、マヨネーズ、食塩、調味料（アミノ酸等）、 （原材料の一部に小麦、卵、大豆を含む）

ルゲンを含む食品のことです。例えばマヨネーズの原材料に卵が使われていることは誰もが知っていますね。以前はそのような常識的なものは表示を省略することもできました。現在では分かりやすく『マヨネーズ（卵を含む）』などと表示されています。

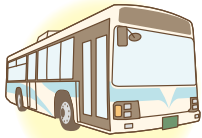
ただし包装方法などで細かな規定があるため、これらに当てはまらない食品もあります。自分自身の健康や安全を守るためにも食品表示を活用していきたいですね。



※食塩相当量の算出方法

ナトリウム (mg) × 2.54 ÷ 1000 = 食塩相当量 (g)

管理栄養士 神田 千緩



平成28年度

新人職員 郊外研修

栃木県の益子町に行ってきました！

私たちの病院に新人職員が入職して半年が経ちました。業務内容の習得、患者さんとの関わりや職場の先輩、上司など緊張する場も多くあったと思います。職種の違う職員が交流する場として毎年、新人職員の郊外研修を行っており、今回は栃木県益子町での陶芸体験、自然散策を企画しました。

新人職員 14 名、看護部は各部署から先輩看護師が 1 名ずつ、検査科長、教育委員の付き添いもあり総勢 24 名で、9 月 14 日に行ってきました。午前は陶芸体験です。粘土で各々が形を形成していく過程で先輩や新人職員同士が

自然に交流し笑い声も聞こえていました。午後の自然散策ではお天気にめぐまれ、気持ちの良い時間を過ごすことができました。酒造見学や試飲体験もあり、充実した 1 日になりました。

帰りのバスの中で日頃の新人職員の頑張りを現場の先輩や上司からコメントを頂き披露しました。研修レポートには先輩や上司からコメントを頂いてうれしかったという内容もあり、先輩や上司が暖かく（時に厳しく）新人職員の成長を見守っていることが伝わり、紙面ではありますが先輩や上司との交流にもなりました。





市民公開講座を開催しました

平成 28 年 10 月 15 日（土）に、当院整形外科医を講師とする「市民公開講座」が行われました。今回の講座「骨粗しょう症ってどんな病気？～」では、骨粗しょう症の主な症状、原因、治療法の話を始めとし、予防及び進行を遅らせる治療や食生活、運動に関して取り上げられ、食事のレシピ等の情報も配布されました。秋晴れのよい天気恵まれ、公開講座には 50 名以上の市民の皆様と 20 名を超える当院スタッフが参加し、立ち見が出るほどの盛況ぶりでした。



よく耳にする骨粗しょう症ですが、知らない事も多かったのではないのでしょうか。骨粗しょう症とそれに伴う病気やケガに

関して学んでいくと、健康な生活には骨粗しょう症予防及び治療が欠かせないと気づかされました。

これを機に、皆様が、骨密度を意識した生活を始められる事を願います。今後とも地域の皆様に貢献できるような講演が行えるよう、職員一同努めていきたいと思



2017年(平成29年)丸山記念総合病院《休診日カレンダー》

- 休診日：毎週水曜日、毎月第一日曜日、祝日 ■赤字は休診日です。
- お盆の時期と年末年始につきましては、当カレンダーをご参照ください。
- 当院ホームページ <http://www.maruyama-hp.or.jp/>にも掲載しております。

1月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

2月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28				

3月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

4月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23 30	24	25	26	27	28	29

5月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

6月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

7月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23 30	24 31	25	26	27	28	29

8月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

9月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

10月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

11月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

12月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24 31	25	26	27	28	29	30

広報誌“お元気ですか”第22号 平成29年3月 丸山記念総合病院 広報委員会

◆さいたま市岩槻区本町2-10-5 ◆TEL048-757-3511 ◆FAX048-756-6061 ◆URL <http://www.maruyama-hp.or.jp/>

皆様の健康をお預かりする、地域に愛される丸山記念総合病院であるために職員一丸となって、
努力いたします。この広報誌へのご意見、ご感想等をお待ちしております。 広報委員会

医療法人 慈正会

丸山記念総合病院

日本医療機能評価機構認定病院

